

# バイオディーゼル燃料取組実態調査の概要 (平成19年度実績)

## \* 調査対象事業体

- ・バイオディーゼル燃料原料の回収・購入、バイオディーゼル燃料の製造、利用に取り組んでいる全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会会員及び会員の傘下団体
- ・バイオディーゼル燃料施策・事業に取り組んでいる市区町村
- ・その他バイオディーゼルに取り組んでいる事業者等

## \* 調査対象期間

- ・平成19年4月1日～平成20年3月31日における実績  
(調査時期:平成20年8～9月)

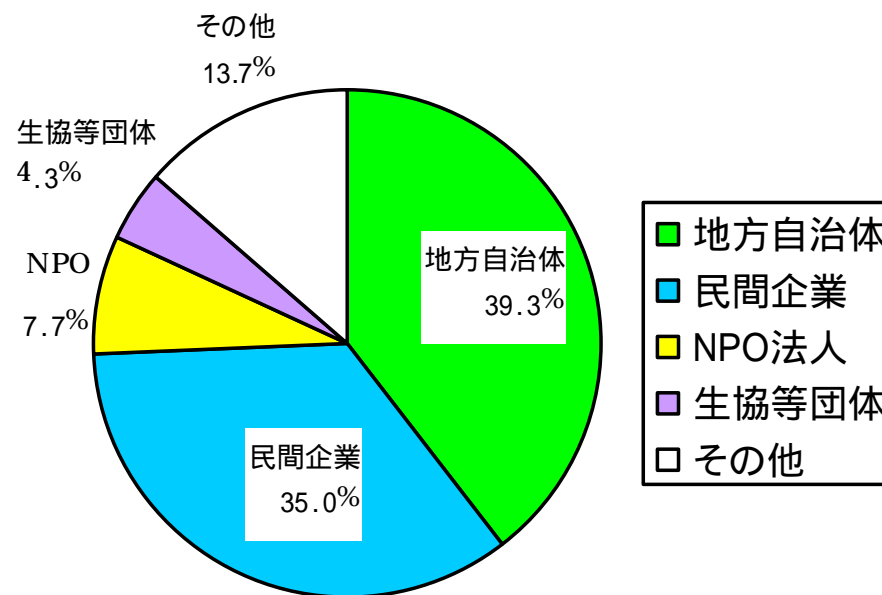
## \* 調査実施者

- ・全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会

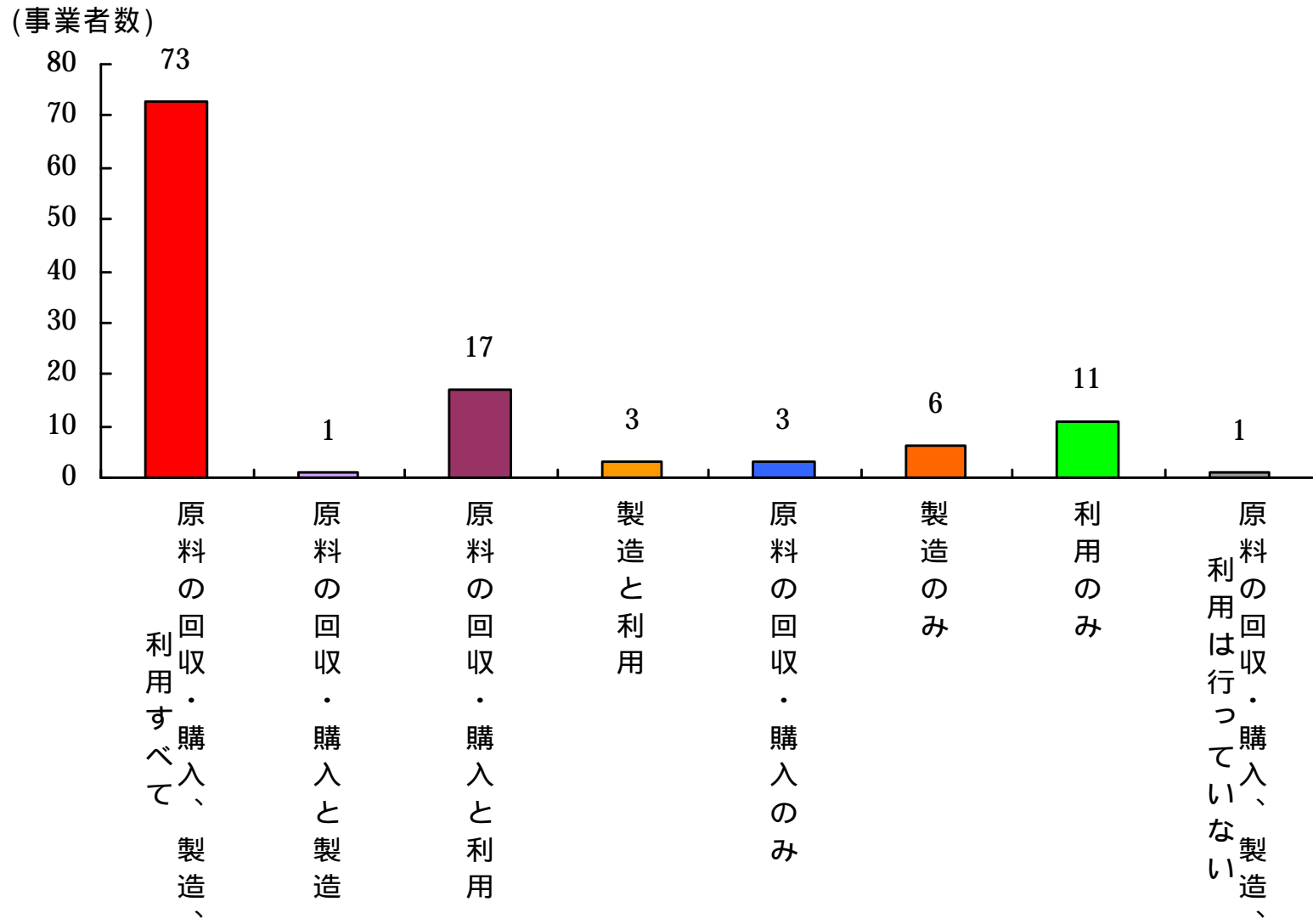
## バイオディーゼル燃料の取組主体の組織

平成19年度実績のある117事業者から回答があった。  
(平成18年度の回答数は48)

組織	事業者数	割合 (%)
NPO法人	9	7.7
民間企業	41	35.0
地方自治体	46	39.3
生協等団体	5	4.3
その他	16	13.7
計	117	100.0

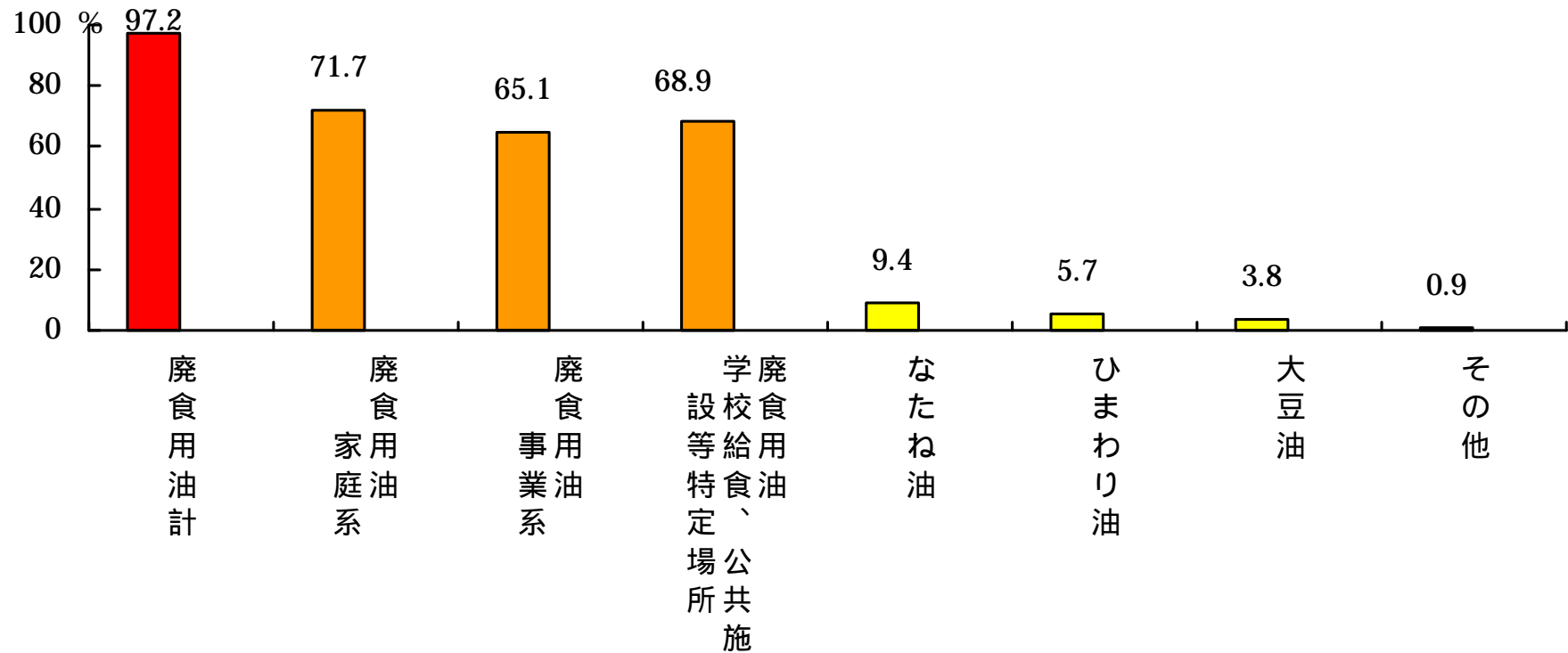


# 取組形態



## バイオディーゼル燃料原料の種類

「廃食用油」の利用が圧倒的に多い(106事業者中103)。  
事業系のほか、家庭系や公共施設等からも利用。



## 製造量と製造コスト

製造量：6,229k（該当事業者72 / 平均87k）

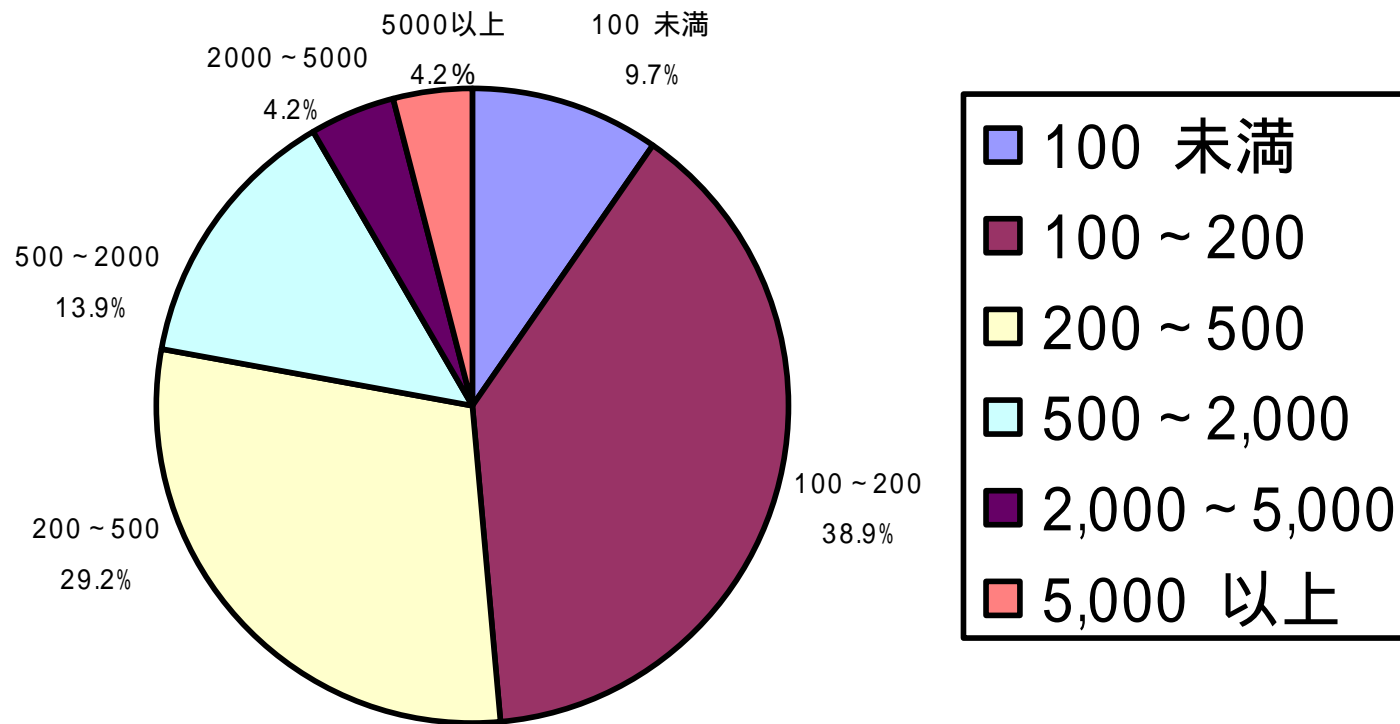
製造率：94.7%（該当事業者70相加平均）

・原料から製造したバイオディーゼル燃料数量の割合

製造コスト：124円 / （回答56事業者平均）

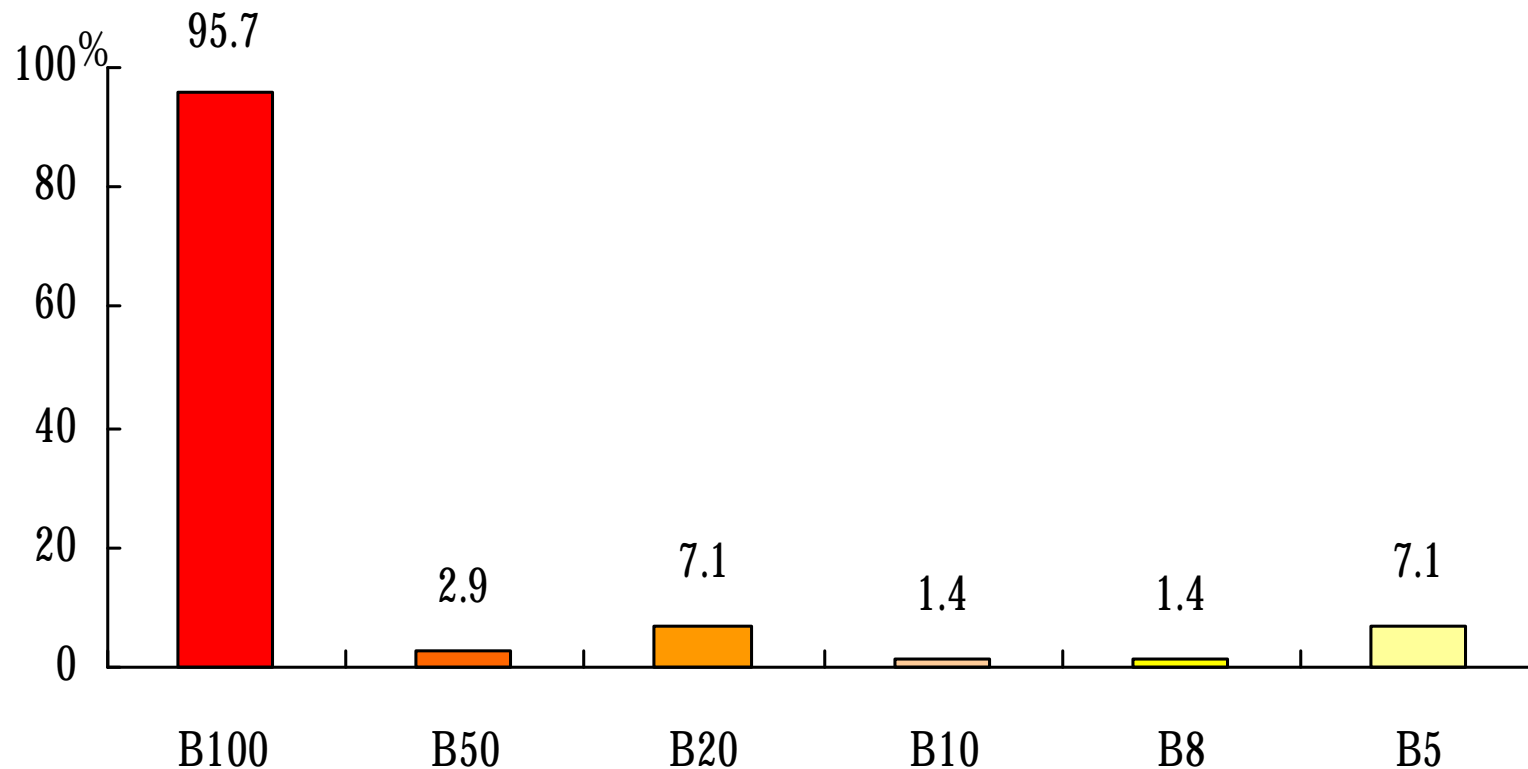
## 製造設備の処理規模(1日当たり)

100～200ℓの規模が多く、次いで200～500ℓの規模である。



# 利用混合率

- ・利用混合率は依然B100(バイオディーゼル燃料100%)が大半を占める。
- ・B5利用や高濃度利用の事業者は少ない。

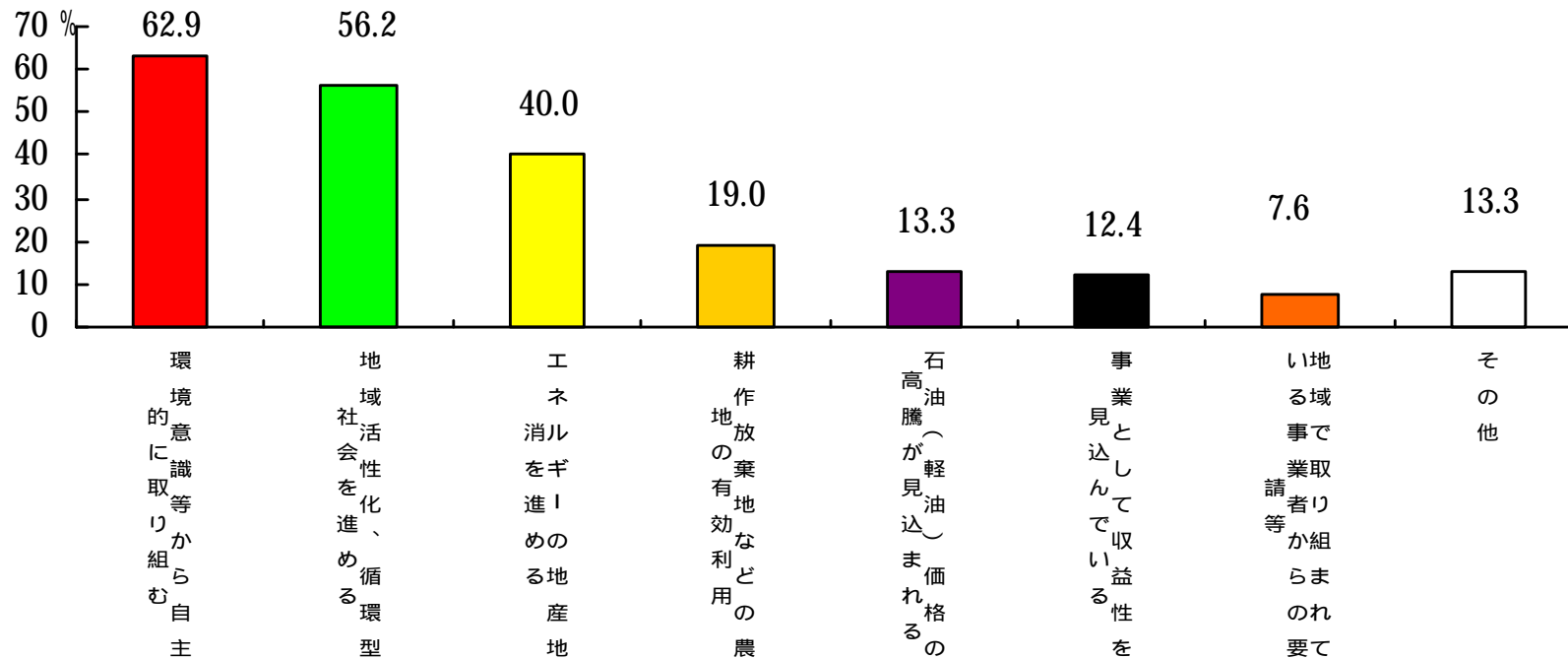


- ・利用混合率(実用回答者数70)
- ・1事業者で複数混合利用あり

# バイオディーゼル燃料に取り組むきっかけ

- ・環境意識等から自主的に取り組む
- ・地域活性化、循環型社会を進める
- ・エネルギーの地産地消を進める

と回答した事業者が多く、これまでのバイオディーゼル燃料を推進するためのキーワードを裏付ける結果が得られた(105事業者からの複数回答)。





# 協議会活動に望むこと

## 事業者からの要望

- ・税制の見直し
- ・バイオディーゼル燃料に関する情報提供
- ・燃料品質分析費用の軽減策

を挙げる事業者が多く、原料調達の期待も多い。

